令和３年度 事業計画

社会福祉法人みどりの樹

社会福祉法人みどりの樹　令和３年度 事業計画

はじめに

新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない状態で新年度を迎えます。とにかく令和２年は、他に漏れずみどりの樹も感染予防に日々気を回しながらの１年でありました。利用されている方、職員には不便や負担をかける判断も多々してまいりましたが、ここまでは大事に至らずに事業継続をさせていただけていることには関係される皆様のご理解、ご協力あってのことと改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。今後も気を緩めることなく皆さんの健康と安心を第一に考えて、コロナウイルスの収束を願いながら活動していきます。

さて、今年度はみどりの樹設立から 20 年目となる法人にとって節目の年であります。設立当時を振り返ると現在はその当時想像もしていなかったような事業規模に拡大し、多様な地域のニーズに対応することができるようになり、感極まるものがございます。設立当初の「想い」は是非、この節目の機会に丁寧に整理していきたいと考えています。

今いる私たちは、そうした設立時の熱い想いを継承しながら、法人基本理念である「誰もが生き生きと暮す街に」を襷コトバとして、刻々と変わる情勢にも対応しながら歩みを進めていく所存です。

（理事長　山下勝康）

基本理念　　誰もが生き生きと暮す街に

障がいがあってもなくても誰もが生き生きと暮せる街づくりの一端を担う

行動指針　　スマイル ＆ ネバーギブアップ

・利用者の笑顔・お客様の笑顔が、私たちの元気の源です
・利用者主体の視点を大切にします
・質の高い商品をお客様に提供します
・何事にもあきらめずに取り組むことを約束します

基本方針　　「地域とのつながり」を考える（令和３年度スローガン）

前年度の内部研修で「地域」について議論しました。地域とは何か、なぜ私たちは地域を大切にするのか、そして地域とつながるとは具体的にどういうことなのか、職員間で共有しました。今年度はその議論を踏まえて行動に移していき、基本理念の遂行に近づけていきたいと考えています。

重点取り組み　　「支援の質」と「働きやすさ、働きがい」の両立を目指す

①中期計画の立案

令和３年度内を目途に、３～5 年計画を立案します。法人設立 20 年を節目にこれまでの歩みを振り返るとともに、今後法人が目指すべき将来計画を明確にします。そのうえで、単年ごとの到達目標を設定し、計画的に事業運営をしていける仕組みを構築します。

②組織再編

現状を鑑みて、また将来の見通しをもって組織図を一新し、ガバナンスの再構築を図ります。令和２年度に実施した業務の棚卸から見えた課題の改善に向けて、職位と職務を再編し、決裁フローの見直しをします。役割と責任・権限を明瞭に見える化することで、支援担当者がより一層対人支援業務に注力できる体制を目指します。併せて、内規や社内ルール、マニュアルを整備することで、業務の均質化も図っていきます。

また、グループウエアを導入し、効率的に情報共有や決裁が行えるようにネットワーク化も進めます。

③人材育成システムの構築

組織再編と連動して、職員が自身のキャリアビジョンを描き、それに向かって主体的にスキルアップに取り組む意欲を持てるように、育成のシステムを構築します。現行のキャリアパスの要件も見直し、並行して人事考課制度もブラッシュアップしていきます。

④地域とのつながり

今年度基本方針に基づき、事業所単位でそれぞれの特性やこれまで培ってきたかかわりを生かして、地域とつながる取り組みを具体的に行っていきます。

事業種類・定員

事業所名	種別	事業内容（事業名称）	定員	計
多機能事業所ループ	指定サービス	就労移行支援事業（ライム）	6	36
		就労継続支援Ｂ型（ライム・なないろカフェ）	20	
		自立訓練(生活訓練)事業（みかん）	10	
生活介護事業所ループ歩	指定サービス	生活介護事業（さつき）	18	30
		生活介護事業（まつぼっくり）	12	
多機能事業所ループ奏	指定サービス	生活介護事業（るるる）	10	20
		就労継続支援Ｂ型（らららら）	10	
本部拠点	指定サービス	放課後等デイサービス事業（あざみ）	10	
		特定相談支援事業（ぽるた）	—	
	浜松市地域生活支援事業（公益事業）	日中一時支援事業（あるば）	7	
		地域活動支援センターⅠ型（はまきた地域活動支援センター）	(20)	
	派遣	浜松市浜北・天竜障がい者相談支援センター	—	

※令和２年度末より変更なし

職員

	計	男	女	平均年齢
常勤職員	29 人	6 人	23 人	37.0 歳
非常勤職員	31 人	4 人	27 人	59.3 歳
計	60 人	10 人	50 人	48.1 歳

職員配置

		ループ	ループ歩	ループ奏	あざみ	あるば	特定相談	はまきた地活	相談派遣	本部	合計
管理者		1	1	1	1				1		5
常勤	専従	6	5	4	3	0	2	1	1	0	23
	兼務	0	1	0	0	0	0	1	0	1	2
非常勤	専従	7	9	4	6	1	1	1	0	0	29
	兼務	0	2	1	0	1	0	0	0	0	2
常勤換算		12.3	8.9	6.4	5.6	1.5	2.8	2.1	1.0	1.0	42.6

利用者数（計画値）

事業名	定員	R2 年度平均 利用者数（人/日）	**R3 年度計画 利用者数（人/日）**	R2→R3 対比	R3 年度 稼働率見込
就労移行支援	6	1.6	**3.0**	＋1.4	50.0%
就労継続Ｂ型 （ライム・なないろカフェ）	20	20.4	**22.0**	+1.6	115.0%
自立訓練(生活訓練)	10	5.0	**5.0**	±0.0	50.0%
生活介護（さつき）	18	16.5	**18.5**	＋2.0	102.8%
生活介護（まつぼっくり）	12	11.0	**12.0**	＋1.0	100.0%
生活介護（るるる）	10	8.5	**10.0**	＋1.5	100.0%
就労継続Ｂ型（ららら）	10	7.8	**9.0**	＋1.2	90.0%
放課後等ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ	10	10.7	**10.9**	＋0.2	111.0%
日中一時支援	7	4.5	**5.4**	＋0.9	77.1%
地域活動支援センター	(20)	6.7	**10.0**	＋3.3	―
特定相談	―	32.5	**36.0**	＋3.5	―

※特定相談の数値は、月の平均件数　　※Ｒ2 年度はＲ3 年１月末までの実績値

資金収支予算規模

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	260,537 千円 (258,077 千円)	240,055 千円 (241,395 千円)	20,482 千円 (16,682 千円)

施設整備等による収支	千円 （0 千円）	19,098 千円 （11,918 千円）	△19,098 千円 （△11,918 千円）
その他の活動による収支	0 千円 （0 千円）	414 千円 （353 千円）	△414 千円 （△353 千円）
当期資金収支差額	―	―	670 千円 （4,110 千円）

（　）内は、令和２年度当初予算

施設整備、大規模修繕、固定資産整備計画

事業所名	種別	金額（円）	詳細	財源
ループ	物品購入	1,100,000	ライム作業棟エアコン買い替え２台	自己資金
本部拠点	整備	600,000	駐車場一部コンクリート整備	自己資金
ループ歩	物品購入	1,000,000	まつぼっくり利用者用ロッカー１０個	自己資金
ループ奏	土地購入	3,500,000	駐車場用土地購入・整備（舗装）一式	自己資金

借入金償還計画

借入先	当期償還額	利息	利息補給	当期末残高	使途
福祉医療機構	6,072,000	737,869		74,382,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	552,980	550,000	25,744,000	
静岡銀行	3,480,000	360,000	0	60,490,000	ループ奏新築工事

会議等

会議名	構成員	頻度／時期
理事会	理事、監事	5 月、11 月、3 月
評議員会	評議員、監事、理事長、業務執行理事	6 月、3 月
評議員選任・解任委員会	理事長、業務執行理事、委員	4 月
管理者会議	理事長、管理者	毎月　第 1 月曜
運営会議	理事長、管理者、主任	毎月　第 4 水曜
法人全体会議	理事長、常勤職員	6 月、11 月、3 月
職員会議	部門ごと、所属職員	部門ごとに設定
監事監査	監事、理事長、業務執行理事他	5 月、11 月
苦情解決委員会	業務執行理事、監事、コンプラ委員	年１～２回

委員会活動

委員会名	内容	担当管理者
防災委員会	・各所防災訓練の徹底、実施の主導 ・防災備品、マニュアルの管理・整備等	寺田志のぶ
研修委員会	・定期の夜間内部勉強会の企画・運営 ・法人合同内部研修会の企画・運営	加藤祐司
広報委員会	・みどりの樹つうしん（機関誌）の定期作成・発行 ・法人ホームページの定期更新等管理	谷口恭子
コンプライアンス委員会	・職場のハラスメントや虐待防止策検討・通報の受付窓口 ・苦情解決フローの見直し、苦情解決委員会の実施	寺田志のぶ
製品品質向上委員会	・既存商品の商品力アップ、カタログ作成 ・新商品（自主製品）の開発	加藤奈穂子
業務改善プロジェクト※	・ケース記録の書き方ワーキング ・業務フロー見直しワーキング	海野洋一郎

職員研修計画

ケース検討会	年４回	みんなで検討しあう経験を通して、考え抜く力議論する力をつける。また広い視野を得て新鮮な気持ちで明日の支援に向かえるようにする
研修報告会	年３回	外部研修（ZOOM 含む）参加者が研修内容の報告発表することによって、個々の学びを深め、知識・情報を法人全体で共有する。
虐待防止研修	年２回～	管理職、支援実務者それぞれで適宜、虐待防止に関する外部研修に参加し、研修報告の機能を活用し全体にフィードバックする
法人全体内部研修	年１回	職員個々の議論力や対話力を向上させるために外部講師に依頼しアサーティブコミュニケーションについて学ぶ研修を行う。
外部研修・その他	適宜	県社協のスマイルブックの活用や、その他の外部研修の情報について、できる限り積極的に参画する。
自主ゼミ	適宜	主体的な学びの意欲に基づく自主ゼミを開催する。他法人と学びを共有する機会も積極的につくっていくことも視野に入れる。

地域における公益的な取り組みの推進

①「みどりの樹　照個屋(てらこや)」の継続

　コロナの影響を鑑みながら、可能であれば一昨年まで同様、地域の方々の特技や力を発揮していただく場の提供を目的に、法人本部建物を全開放し複数のワークショップの開催と餅つき、豆まきを実施する「照個屋」を２

年実施してきました。地域の皆さんとの新たな出会いも多く、みどりの樹にとっては、地域とのつながりを広げる大変有意義な取り組みとなりました。今年度も同様に、みどりの樹も地域の一員として、皆さんとつながりを深めながら元気になる企画として、実行していきます。

②法人設立 20 周年記念

これまでの周年イベントのように、このコロナ禍ではみなさんにお集まりいただき日頃の感謝をお伝えしりお祝いの場を設けることが困難です。それでも地域の方々にこの節目をお伝えしながら、様々な形で感謝の意を込めて還元していく企画を検討し、実施していきます。

法人組織図

行事計画（予定）※コロナ禍の収束が見られた際には、下記以外にも積極的に外出企画をします

月	対外活動、レクリエーション企画	防災訓練
4	・昨年度頑張りました会（さつき） ・お花見（まつぼっくり） ・保護者会（まつぼっくり） ・はじめの会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
5	・保護者会（さつき、ループ奏） ・子どもの日の会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
6		・防災訓練（地震想定） ・あざみ避難訓練
7	・七夕会（各事業所）	・あざみ避難訓練
8	・暑気払い、大掃除（ループ、ループ奏） ・お疲れ様会（ループ歩、ループ奏） ・さつき de 夏まつり（さつき） ・夏まつり（ループ奏） ・外食体験（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
9	・わ西部ふれあいレクリエーション大会（ループ、ループ歩、ループ奏） ・お月見会（さつき、あるば・あざみ） ・ハロウィン（ループ、あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練
10	・保護者会（ループ） ・さつき de 運動会（さつき） ・お楽しみ会（さつき）	・防災訓練（水害想定） ・あざみ避難訓練 ・地区防災訓練（ループ奏）
11	・浜北ふれあい広場(法人全体) ・元気ライブ（ループ、ループ歩、ループ奏）	・あざみ避難訓練
12	・クリスマス会（法人合同） ・大掃除（各事業所） ・忘年会（ループ） ・お疲れ様会（まつぼっくり）	・地域防災参加 ・あざみ避難訓練
1	・初詣（各事業所）	・あざみ避難訓練
2	・照個屋（法人全体） ・豆まき（各事業所）	・防災訓練（火事想定） ・あざみ避難訓練
3	・ひなまつり会（まつぼっくり、あるば・あざみ） ・卒業生を送る会（あるば・あざみ）	・あざみ避難訓練 ・緊急連絡訓練（職員）

多機能事業所ループ

基本方針

就労移行支援（ライム）
２年間の有期限の中で、一般企業への就職を目指す方の職業訓練・就職活動支援・定着支援・就労後のフォローアップなどを行います。ハローワークなどをはじめ、関係機関との連携を生かし、マッチングを最重要ポイントとして取り組んでいきます。

就労継続支援Ｂ型（ライム、なないろカフェ）
一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者の所得保障という視点でできるだけ多くの工賃をお支払いできるような営業展開をしていきます。

自立訓練（生活訓練）（みかん）
「はたらく力」「生活する力」「人とつながる力」を身につけ、主体的に地域で生活が営めるようになることを目指します。

具体的活動内容

就労移行支援（ライム）
　ライム内での作業訓練を基軸に、生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に取り組みます。特化プログラム SSP では、「自分を知ること」をキーワードにしたグループワークを通して、興味・関心を広げるとともに、具体的な職業生活スキルの向上を図っていきます。就職活動に関しては、ハローワークの登録から面接まで可能な限り同行し、サポートをしていきます。また、就労後のフォローアップでは、他事業・制度を積極的に活用・連携し、現場訪問や生活支援などを丁寧に行っていきます。

就労継続支援Ｂ型（ライム、なないろカフェ）
（就労訓練活動）
・弁当の製造・販売…業務内容については例年通りに行います。時間を意識し、盛り付けや仕上がりなどを丁寧に行います。安心安全でおいしい弁当をお届けし、安定した注文が確保できるように努めます。
・下請作業…業務内容については例年通りに行います。納期や精度、生産数や環境整備を意識して、取引先から信頼される活動を心掛けます。
・喫茶業務…なないろカフェの運営業務を例年通り行います。地域の方に親しみを持っていただけるような営業活動ができるように心がけます。
（レクリエーション活動その他）
　主に土日を使って、様々な課外活動やレクリエーションを行います。また、七夕や節分など季節を感じられるような行事を活動時間内に取り入れることで、リラックスする時間とはたらく時間のメリハリをつけたり、楽しみがあるというモチベーションにつなげたりしていきます。他に、地域の皆様にもライムをより知っていただけるよう、地域のイベントなどにも積極的に参加していきます。また、なないろカフェ単体で、少人数だからこそできるレクリエーション活動の時間も大切にしていきます。

自立訓練（生活訓練）（みかん）
・作業訓練…施設の清掃業務や下請作業など、ひとりひとりの課題に合わせて取り組みます。

・Ｓ　Ｓ　T…就労や自立した生活に向けて必要となるコミュニケーション方法などを体験的に学習します。
・訪問活動…自立に向けて日常生活能力・技術を向上させるため、必要に応じ訪問し相談援助を行います。
・生活講座…自立した生活を営むために、そして地域の一員として活躍していくために必要な金銭管理や健康管理、その他生活技術について学習します。
・調理実習…楽しく調理をしながら食への関心を高め、自立生活の一助となるよう炊事の力を身につけます。
・余暇活動…みんなで考え、話をして企画するレクリエーション活動の時間を取り入れていきます。また、地域のイベントにも積極的に参加していきます。
・個別支援の時間…ひとりひとりの創造性や個性を伸ばす活動や、個々の特性に合わせた活動を行います。
・体幹(感)トレーニング…楽しく体を動かし、日頃のストレス解消や体の正しい動かし方について学びます。

R3 年度重点目標

1）利用者支援について

就労移行支援（ライム）

・日々のかかわりやアセスメント、定期面談や特化プログラム SSP を通して、その人を知り、その人がどうなりたいか、どんなはたらき方をしたいのかを一緒に考えます。
・職場または他事業所の見学や体験、実習を通して、自分らしいはたらき方やはたらく場所を探し、見つけ出します。
・就職後も、自分らしく、自信をもってはたらき続けられるよう、アフターフォローを丁寧に行います。

就労継続支援Ｂ型（ライム、なないろカフェ）

(ライム)

・みんなが気持ちよくはたらくことができるよう、元気にあいさつをすることを大切にします。
・一人ひとりに合ったはたらき方やその人らしさを見つけ、利用者の“なりたい”“やりたい”“がんばりたい”を引き出し、伸ばします。
・利用者がはたらく喜びややりがいを実感できるように支援します。

(なないろカフェ)

・「やってみたい」気持ちを大切にする
少人数の良さを生かしそれぞれの力が発揮できる環境づくりをします。
・「私に任せて」
自分の役割を最後までやり遂げる力を身につけることができるように支援します。

自立訓練（生活訓練）（みかん）

少人数の良さを生かし、一人ひとりとじっくりかかわる支援を行っていきます。協調性を大切にしながらも、多様なニーズに対応できるよう、柔軟な発想での支援を目指します。

2）地域とのつながりについて

就労移行支援（ライム）

・他事業所や他機関、企業等との情報共有や関係づくりに努めます。
・これまでのつながりとこれからのつながりを大切にします。

就労継続支援Ｂ型（ライム、なないろカフェ）

(ライム)

・顔を合わせたら、元気にあいさつをします。
・今あるつながりを継続・強化して大切にします。
・“地域とのつながり”を意識して過ごし、できることや必要なことを考え、探していきます。

（なないろカフェ）
・SNS を活用するなど、アンテナショップとして地域に向けて情報発信をしていきます。
・午後の時間帯を地域活動支援センターの活動の場として開放し、ほっと心休まる場所、人との交流の場を提供します。

自立訓練（生活訓練）（みかん）
・相談支援事業所等と連携し、幅広い視野で地域のかくれたニーズを拾い上げていきます。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
弁当	ぬくもりごはん、まかない丼、仕出し弁当の製造・販売	17,000,000 円
カフェ	なないろカフェの運営、喫茶業務、雑貨・菓子類販売	4,500,000 円
請負業務	自動車、オートバイ部品等の組立、梱包、バリ取り	4,000,000 円

利用者工賃

	工賃見込（月額平均）	工賃見込（時給換算）
就労移行（ライム）	20,000 円	270 円
就労継続支援Ｂ型（ライム）	22,500 円	300 円
就労継続支援Ｂ型（なないろカフェ）	32,000 円	350 円
自立訓練（生活訓練）（みかん）	3,500 円	―

＊みかんでは、収入となる作業を通してお金を稼ぐ経験も大切にしていきます。

目標就職者数と目標職場定着率

目標就職者数…２名　目標職場定着率…100％

生活介護事業所ループ歩

基本方針

さつき
・本人が穏やかな気持ちで安心して過ごせることを大切にします。
・様々な場面において本人の意思を尊重した活動を行うと共に、作業や生活場面においてできる喜びを大切にしながら支援を行います。
・地域の方々にさつきのことをもっと知ってもらえることを意識して行動します。

まつぼっくり
・利用者がはたらく喜びを感じられることを大切にし、一人一人にあった作業内容を考えます。
・利用者の想いを受け止め、毎日気持ちよく通える雰囲気づくりをします。

・善地において活動させていただいていることに感謝し、まつぼっくりだからこそできるつながりを作っていきます。

具体的活動内容

さつき

（作業活動）

・おからクッキーの製造販売と部品の組み立て等請負作業を行います

・作業に取り組む時間が少しでも伸ばせるように作業内容や環境を配慮しながら作業活動を行います

・利用者が主体的に様々な役割を担える場面を増やし、多様な「働き方」を提供していきます

（生活支援）

・ご家族と連絡ノートや自宅送迎時の時間を活用して密に連絡を取り合い、また定期的な健康チェックを行い、常に健康状態に留意しながら支援にあたります

・音楽や体を動かす活動など、利用者が楽しめる活動を積極的に行っていきます

まつぼっくり

（作業活動）

・パン・焼き菓子のみにこだわらず、利用者に合った作業内容の見直しをします。

・売上アップを図る為に配達先の新規開拓や新商品を開発します。

（生活支援）

・利用者の発信を受け止められるように、利用者同士や職員とのコミュニケーションの時間も大切にしていきます。

・毎月実施している体重・血圧測定を継続し、数値の変動を家族に報告しながら体調の変化に留意します。

・健康のために散歩、ポスティングの時間を増やし、近所の方にも顔を知ってもらいます。

R３年度重点目標

1）利用者支援について

さつき

・個々の行動特性を再確認し、本人に合った支援計画の見直しを行い、職員間で統一した支援を行います。

・利用者の可能性を広げつつ、本人の意思を確認しながら継続して作業に取り組めるように支援を行います。

・レクの時間に新しいチャレンジを取り入れ、さらなる充実を図ります。

まつぼっくり

・利用者の発信を受け止められる姿勢を持ち、コミュニケーション技術の向上に努めコミュニケーション保障と情報保障に努めます。

・利用者一人一人にあった作業内容を本人と一緒に考え、個々の力を最大限に発揮できるよう努めます。

2）地域とのつながりについて

さつき

・ゴミ置き場の掃除を行います。

・通信を自治会の回覧板に配布します。

・さつきの駐車場を利用して外部からフリーマーケットを呼び込むイベントを行います。

まつぼっくり

・廃品回収を年に４回行ない、利用者も当番制で対応し近所の方との交流を深めます。
（高齢の方のお宅への引き取りも行います）

・善地町内会の皆さんにパンの配達をすることをお知らせし、まつぼっくりの存在をアピールします。
・まつぼっくり周辺のお宅へ利用者と一緒に通信を届けます。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年 (円)
さつき		**2,850,000**
おからクッキー	おから入りクッキーの製造、販売	1,300,000
請負業務	自動車、オートバイ等の部品組み立て、バリ取り作業	1,550,000
まつぼっくり		**5,905,000**
パン	パン、紅茶・胚芽・玄米クッキーの製造販売	5,900,000
その他	イス脚カバーの製昨、販売	5,000

利用者工賃

	工賃見込（月額平均）	工賃見込（時給換算）
さつき	4,500 円	100 円
まつぼっくり	15,000 円	300 円

多機能事業所ループ奏

基本方針

生活介護（るるる）
利用者自身が日々の生活を楽しく穏やかに過ごせるように支援していきます。それぞれのるるるに通う意味を見出し、一人ひとりが充実した時間を過ごせるように活動していきます。

就労継続支援Ｂ型（らららら）
一般企業ではたらくことが困難な方が、自分らしく能力を発揮してはたらくことができるように支援していきます。生産活動を行う中では、利用者のペースやニーズに合わせて、できることから取り組んでいき、はたらく楽しさや役割を担う達成感を提供していきます。

具体的活動内容

生活介護（るるる）
（生活支援）
　楽しむこととリフレッシュを兼ねて、日々の活動にレクリエーションを積極的に組み込みます。運動になるような活動や、音楽や読み聞かせ、リラクゼーションなどを定期的なプログラムで提供していきます

また、季節ごとに創作活動を行い、制作物を事業所内に展示してみんなで事業所の雰囲気を作っていけるようにします。

（作業活動）

部品組み立て等の請負作業を中心に行います。作業に自ら取り組み達成感や喜びを感じられるように個々に合わせた作業提供をし、安心して落ち着いて取り組めるよう環境を整えます。また、定期的に近隣の清掃活動に取り組んでいきます。

就労継続支援Ｂ型（ららら）

（就労訓練活動）

公立高校の購買部の運営と、部品組み立て等の請負作業を行います。様々な作業を提供し、継続して取り組むことで自身の作業力を高めていけることを目指します。

また、他事業所と連携し、様々なプログラムに参加することで自身の持っている力・得意なことの向上につなげていきます。

（生活支援）

調理や掃除、洗濯等の生活力が身につくプログラムを取り入れていきます。定期的に近隣の清掃活動に取り組んでいきます。

Ｒ３年度重点目標

1）利用者支援について

生活介護（るるる）

・作業やレクリエーション活動を通し充実した１日が過ごせるよう支援します

・日々の生活の中で、自分の力を発揮できるよう支援します

就労継続支援Ｂ型（ららら）

・一人ひとりが働くことに喜びや生きがいを見つけ頑張れるよう支援します

・奏にて生活していく中で、作業等の活動を通し、個々の課題を明確化し、本人に合ったペースでステップアップしていく事を目指します。

2）地域とのつながりについて

生活介護（るるる）

・散歩に出掛け元気な挨拶を心がけます。

・地域に出て活動することで奏の認知度を高めていきます。

就労継続支援Ｂ型（ららら）

・散歩に出掛け、周辺の環境整備に取り組みます。

・地域に出て活動することで奏の認知度を高めていきます。

生産活動

項目	内容	売上目標 / 年
請負作業	自動車、オートバイ部品等の組立、バリ取り,ハンカチたたみ等	1,450,000
高校購買部	購買販売	3,500,000

利用者工賃

	目標工賃（月額平均）	目標工賃（時給換算）
生活介護（るるる）	1,500 円	100 円
就労継続支援Ｂ型（ららら）	10,000 円	150 円

放課後等デイサービス事業所あざみ

基本方針

日々の活動の中で、子どもの発達過程や特性を理解し、一人一人の状況に応じた支援をおこないます。子どもと支援者の信頼関係を築き、安定した環境の中で、友達と楽しく過ごす経験を増やしていきます。

具体的活動内容

・自立支援と日常生活の充実
基本的日常生活動作の習得と自立生活を支援する活動を行います。学校、家庭と連絡を取り合いながら、一人ひとりのペースに合わせて支援していきます。集団生活の中で情緒面への配慮や安全性を確保し、安定した生活ができるように支援します。

・創作活動
子どもの「やってみたい、作ってみたい」という気持ちを大切に受け止め、表現する楽しさや達成感を味わうことができるように支援していきます。（季節行事の制作物、段ボール工作、塗り絵など）

・余暇支援（遊びの支援）
散歩、園庭等で自然と触れ合える機会を設け季節の変化を楽しみます（焼き芋、水遊び、草滑り花摘みなど）
日々の活動の中で子どもたちの「やってみたい」の気持ちを大切にし、気持ちに沿えるように支援します。
（鬼ごっこ　音楽活動　築山のぼり　庭そり　ダンス　工作　スライム作り　　ままごと遊び）
その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせ、支援者の見守りの元で、楽しく友達と一緒に過ごすことができるように支援します

Ｒ３年度重点目標

1）利用者支援について
子どもの発達や特性の理解を重点目標とし、特性に配慮した環境設定を行います。

2）地域とのつながりについて
自分たちの事業所が何をしているかを地域住民に知っていただくために、子どもたちと一緒に発信していきます。具体的には園庭側フェンスに活動がわかるような看板をみんなで制作し掲示します。地域を知るための活動を子どもたちと展開します。（散歩や地域の清掃活動、地域美化）

日中一時支援事業所あるば　Ｒ３年度事業計画

基本方針

子どもにとって、あるばが学校と家庭との中間地点であることから、ストレスを発散し、楽しく遊ぶ場所、安心してゆっくりと過ごすことができる場所であること、保護者にとって安心して子どもを預けることができる場所であることを目指します。、

具体的活動内容

・ひとり一人の発達過程や特性を考慮し、安心して過ごしていただけるように支援します。

・基本的な日常生活動作が身につけられるように、ゆっくりと支援していきます。

・余暇支援　楽しい時間を過ごしていただくために創作活動や散歩、少人数でのグループ遊び、リラックスするための遊びの支援、ストレス発散のための遊びなど、一人一人の子どもの状況に合わせ支援者のかかわりのもとで行います。

・保護者支援　日頃より子どもの様子をお互いに伝えあい、課題について共有していきます。

Ｒ３年度重点目標

1）　利用者支援について
　　ひとり一人の発達過程や特性理解に重点を置き、感覚過敏などの子どもに配慮した環境設定をします。
2）　施設運営について
　　令和２年度に引き続き新型コロナウイルス感染予防や他の感染症予防を考慮した運営に努力します。
　　子どもや保護者が安心して支援を受け続けられるように、子ども、職員の健康管理に努めます。
3）　地域とのつながりについて
4）　自分たちの事業所が何をしているかを地域住民に知っていただくために、子どもたちの一緒に発信していきます。具体的には園庭側フェンスに活動がわかるような看板をみんなで制作し掲示します。地域を知る活動を子どもたちと展開します。（散歩や地域の清掃活動、地域美化）

はまきた地域活動支援センター　Ｒ３年度事業計画

基本方針

利用される皆さんが、仲間との出会いを通して自分自身を知り、自分が持っている力を発揮しながら、地域での暮らしを豊かにしていくお手伝いをします

具体的活動内容

開催日程	活動内容	開催場所
月１回	＊地活ミーティング　①③ ＊ちくちくクラブ（手芸・クラフト）　①② ＊朗読カフェ　① ＊音楽鑑賞会　① ＊からだを動かす日　① ＊テイクアウトお食事会　①② ＊フリータイム　① ＊エコウォーキング　①	なないろカフェ
	＊青春倶楽部おでかけ（シニア世代を中心）　①	外出
	＊あざみと誕生会　①③	本部
月２回	＊カラオケ　① ＊音楽クラブ・TV ゲーム　① ＊卓球　①	本部
	＊ゲーム会　① ＊パソコン教室　①② ＊昼下がりのいっぷく（シニア世代を中心とした集い）　①③	なないろカフェ
週１回	＊いっぷく　①②	なないろカフェ
不定期	＊男子会・女子会　①	なないろカフェ
	＊季節行事　①	適宜

①　日常生活支援事業

「利用者主体」「気持ちよく過ごせる場所」をモットーに、日々の生活に充実感を得られるように、課題や希望に対して関係機関と連携して支援を行います。休日の過ごし方や余暇の楽しみ方等日々の生活に張り合いを作れるよう、出来る限り多くの方に興味を持ってもらえるような内容を吟味しながら新規のプログラムを定期的に立ち上げていきます。利用者同士の意見交換の機会を持ち、自らもイベントの企画・実行をしていけることも大切にします。

②　地域交流活動

地域の方々との交流、ボランティアとの連携を通じて、障がい者福祉に関する啓発を行います。また当事者発表の場や講演活動にも積極的に取り組んでいきます。

③　ネットワーク作り

当事者活動の支援、または関係機関との連携を深めていくことを意識していきます。

R３年度重点目標

1)　利用者支援について

利用される方が「やりたいこと」「やってみたいこと」を自ら発信できる環境づくりや場の提供をし、みなさんの主体的な活動を積極的に取り入れ実行していきます。5 名程度の少人数グループを作り、このメンバ

ーであれば「安心して過ごせる」「また来たい」「自分の気持ちが話せる」と思えるような居場所づくりを行います。

2）地域とのつながりについて

なないろカフェに地活のポスター等を掲示し、多くの方々に地活の存在を知ってもらい、ボランティアをしてくださる方を積極的に募集していきます。ボランティアのみなさんの活動参画をはかり、交流を通して理解・啓発を促進します。

活動内容にエコウォーキングを取り入れ、本部周辺のごみ拾いを行うなど地域に役立つことを行いながらアピールをはかります。

特定相談支援事業所ぽるた　Ｒ３年度事業計画

基本方針

ひとりひとりの想いに寄り添い、その実現に向けていっしょに考え、いっしょに歩んでいくことを大切にします。また、場面に応じてソーシャルアクションを起こしていきます。

具体的活動内容

個々の相談を受けながら、サービス等利用計画書の作成・モニタリング等、計画相談のシステムに基づいて行います。

・基本相談
・サービス利用支援
・継続サービス利用支援
・サービス担当者会議

Ｒ３年度重点目標

1）利用者支援について

5 年後、10 年後を見据えて今できることをご利用者と一緒に考え、計画の作成を行っていきます。生活や体調、家族の変化のある方は特に再アセスメントを実施し、ご本人のニーズを的確に把握していくこと心がけます。

3）地域とのつながりについて

顔の見える関係を意識して、ご利用者にとっての関係機関だけでなく、相談支援事業所であるぽるたも地域の資源の一つとして包括支援センターや介護支援専門員、民生委員、あらゆる相談機関、サービス提供機関とのつながりを強めていけるようにします。